

令和5年度 幸福度調査結果概要

I. 幸福度調査について

「白河市行動計画～アジェンダ2027～」の進捗状況の把握に活用するとともに、新規事業の検討や既存事業を拡充する際の基礎資料とする。

II. 実施概要について

対象者	18歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
回収数	934人(男性:396人、女性:527人、その他:11人) 郵送回答:737人 インターネット回答:197人
回収率	31.1%

Ⅲ. 調査内容について

- (1) 総合的な『幸福度』
- (2) 6分野単位の『幸福実感度』及び『重要度』
- (3) 6分野46項目の『幸福実感度』及び『重要度』

分野	主な項目
① 安全・安心	防犯、治安、交通安全、生活情報の伝達、救急医療、防災 等
② 健康・福祉・子育て	運動の実施、体の休息、心の安らぎ、医療・福祉の充実、子育て環境の充実、子育てに対する理解 等
③ 産業・雇用	生活の安定(収入)、仕事と生活のバランス、まちの活気、買い物の利便性、まちの魅力、生活のゆとり 等
④ 教育・文化・生涯学習	子どもの健全な成長、教育環境の充実、興味・関心への取組、文化芸術への取組、スポーツ環境、地域への愛着 等
⑤ 都市基盤・環境	外食やショッピング、交通の利便性、まちなみ、ごみや騒音、豊かな自然 等
⑥ コミュニティ	地域との交流、自分の役割頼れる人の存在、恋心、地よい空間、多様性への理解 等

(1) 総合的な『幸福度』

あなたは、
幸せだと感じますか？



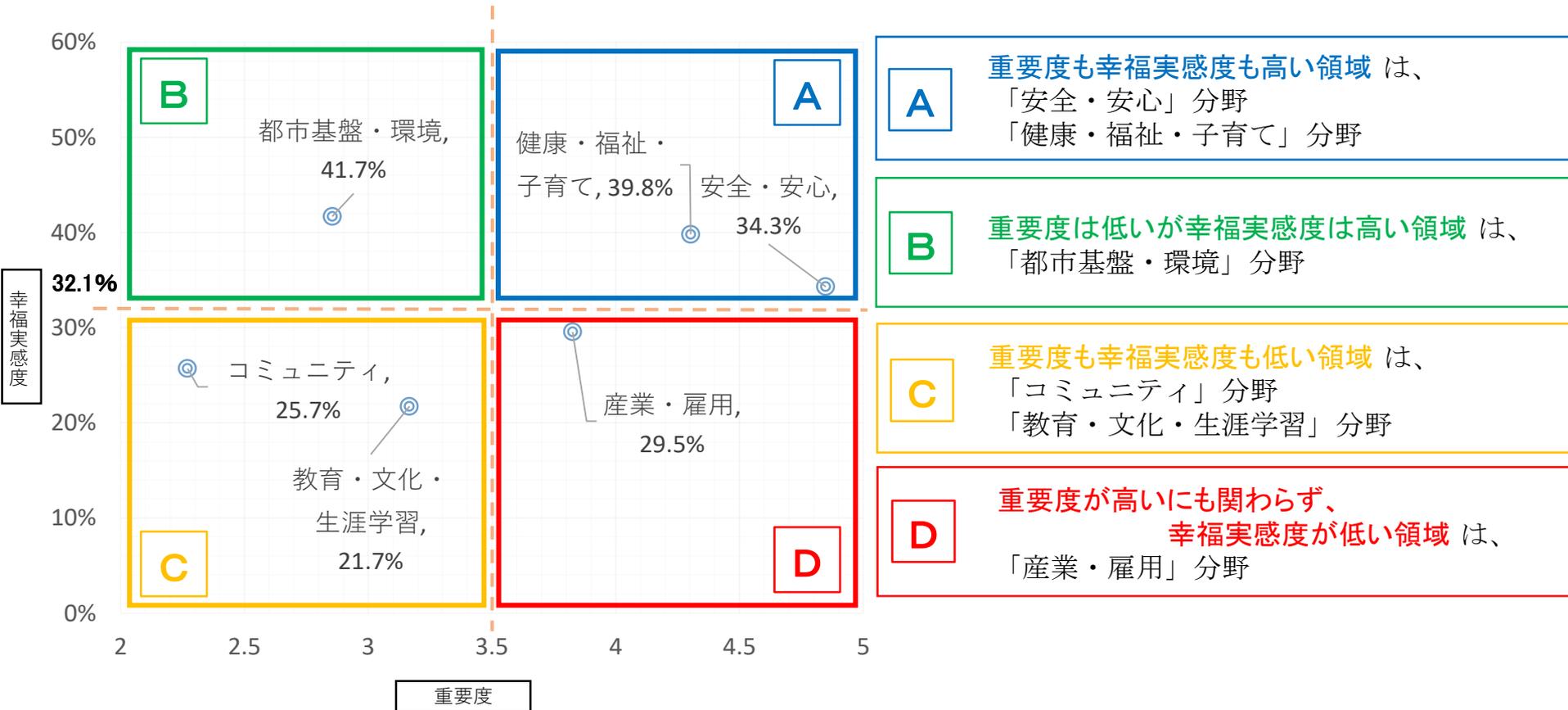
感じる：45.8%
感じない：12.7%
どちらとも言えない：33.3%

〔主な属性別の集計結果〕

属性	集計結果
性別	「男性(43.2%)」より「女性(48.2%)」が高い
年代	「20歳代以下(67.2%)」が最も高く、「40歳代(38.5%)」が最も低い
居住地	「白河地域(48.2%)」、「表郷地域(39.1%)」、「大信地域(41.0%)」、「東地域(37.5%)」
就業形態	「会社など役員(65.6%)」が最も高く、「無職(34.5%)」が最も低い 「正規の職員・従業員」は51.1%
世帯収入	世帯収入が多いほど幸福度が高い。「1,000万円以上(80.8%)」
配偶者の有無	「結婚したことがない(48.3%)」が最も高く、 「結婚していたが現在は配偶者がいない(36.2%)」が最も低い
子どもの有無	「いる(46.1%)」と「いない(46.4%)」で大きな差はない

(2) 6分野単位の『幸福実感度』及び『重要度』

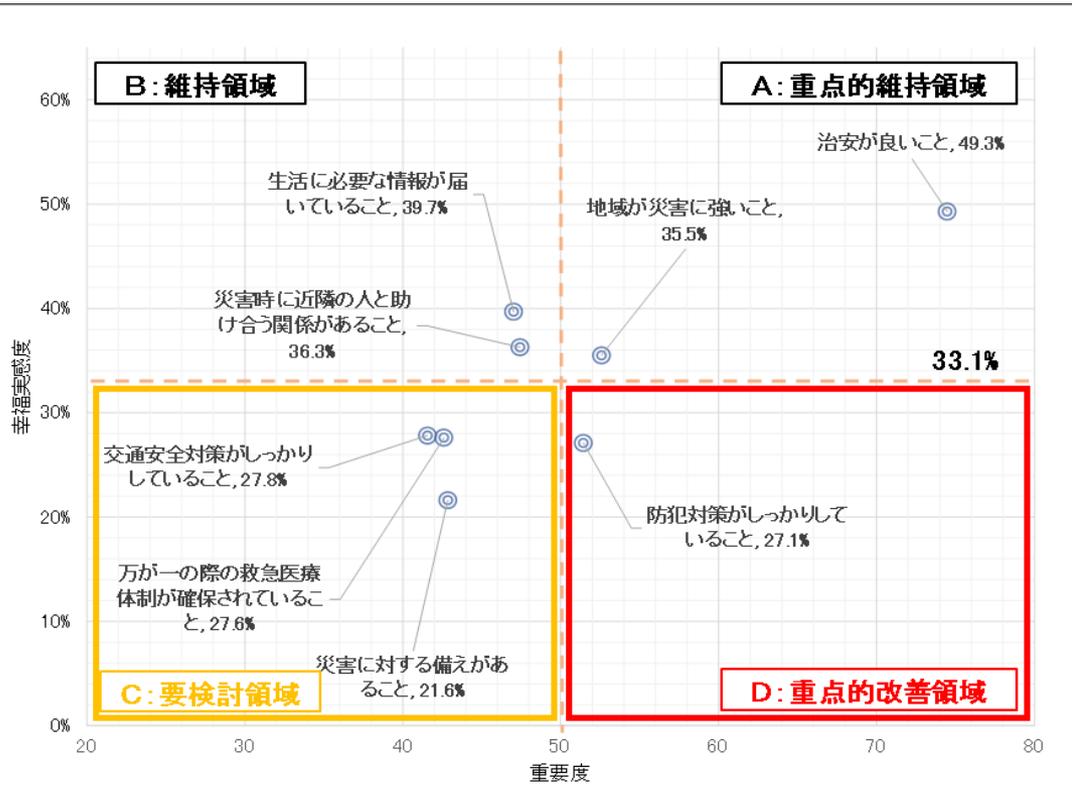
6分野について、縦軸に「幸福実感度」、横軸に「重要度」を用いたグラフでポートフォリオ分析を行った結果、重要度が高いにも関わらず幸福実感度が低い領域に該当したのは「産業・雇用」分野であった。



(3) 6分野46項目の『幸福実感度』及び『重要度』

① 安全・安心

6分野46項目のうち、「安全・安心」分野の8項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『重点的改善領域』に該当したのは「防犯対策がしっかりしていること」であった。



各領域の考え方

A: 重点的維持領域

重要度も幸福度も高く、引き続き重点的に維持していく

B: 維持領域

重要度は低いが幸福実感度は高く、現状を維持していく

C: 要検討領域

重要度も幸福実感度も低く、必要に応じて改善していく

D: 重点的改善領域

重要度が高いにもかかわらず幸福実感度が低く、今後優先的に改善していく必要がある

重点的改善領域

防犯対策がしっかりしていること

要検討領域

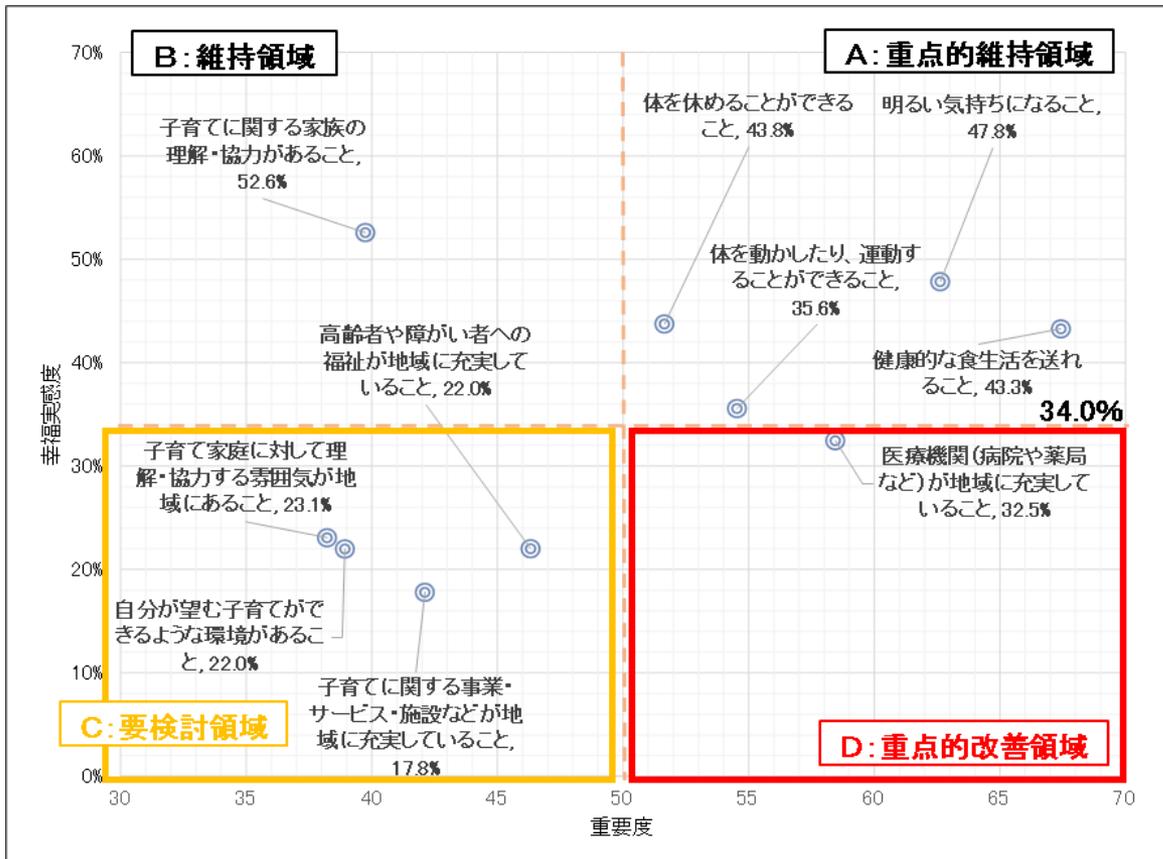
交通安全対策がしっかりしていること

万が一の際の救急医療体制が確保されていること

災害に対する備えがあること

② 健康・福祉・子育て

6分野46項目のうち、「健康・福祉・子育て」分野の10項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『**重点的改善領域**』に該当したのは「**医療機関が地域に充実していること**」であった。



重点的改善領域

医療機関が地域に充実していること

要検討領域

子育て家庭に対して理解・協力する雰囲気が地域にあること

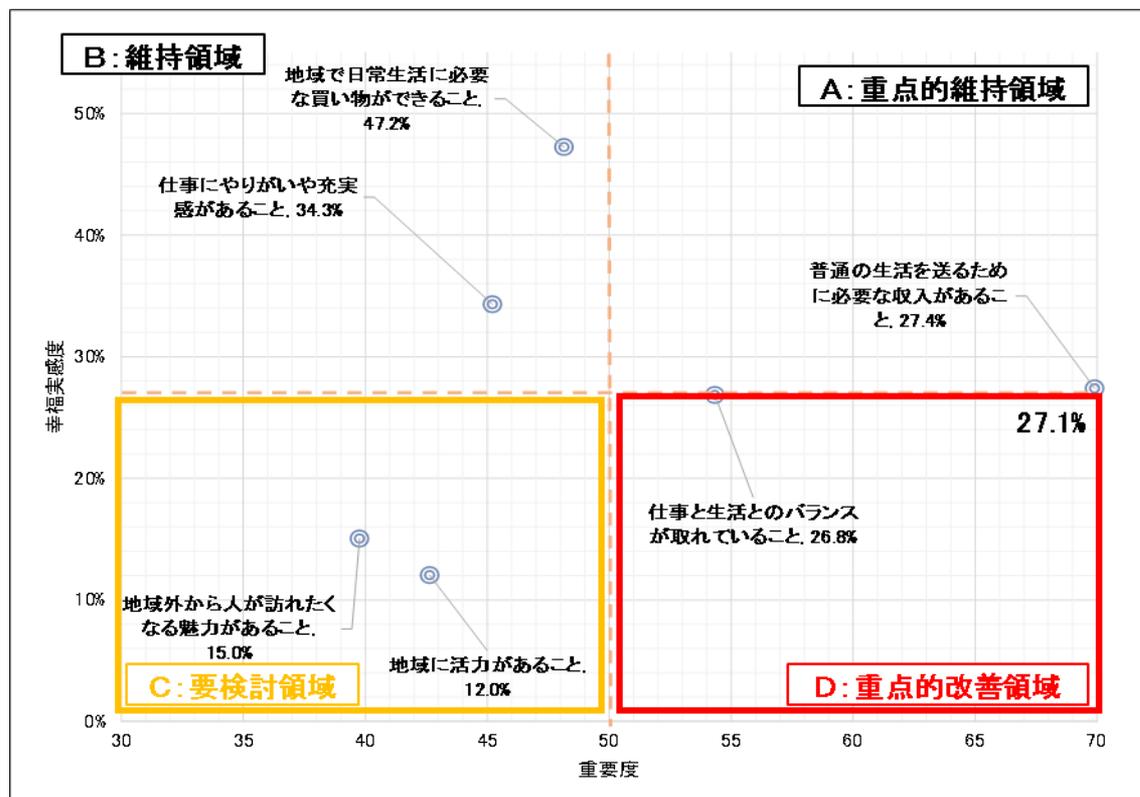
自分が望む子育てができるような環境があること

子育てに関する事業・サービス・施設などが地域に充実していること

高齢者や障がい者への福祉が地域に充実していること

③ 産業・雇用

6分野46項目のうち、「産業・雇用」分野の6項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『重点的改善領域』に該当したのは「仕事と生活のバランスがとれていること」と「普通の生活を送るために必要な収入があること」であった。



重点的改善領域

仕事と生活のバランスがとれていること

普通の生活を送るために必要な収入があること

※幸福実感度が27.4%で平均（27.1%）を上回るが、僅かの違いであるため重点的改善領域とした

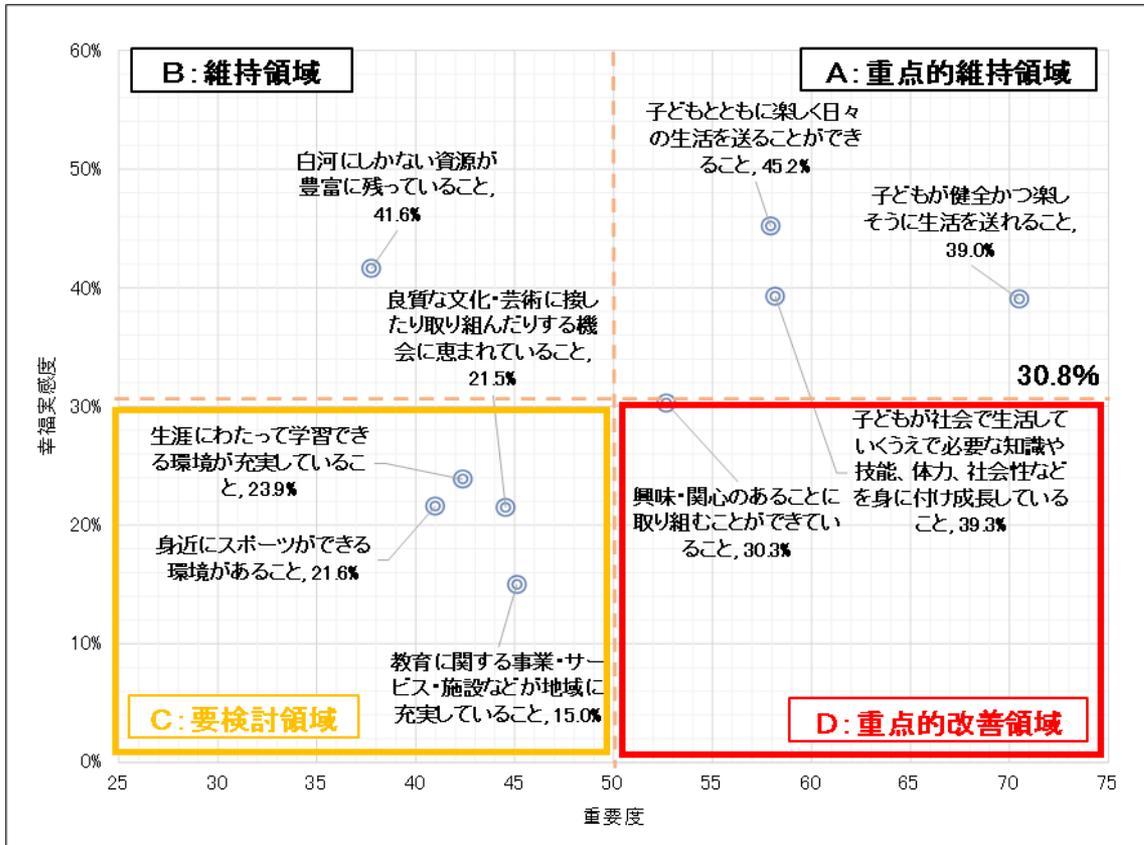
要検討領域

地域外から人が訪れたい魅力があること

地域に活力があること

④ 教育・文化・生涯学習

6分野46項目のうち、「教育・文化・生涯学習」分野の9項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『重点的改善領域』に該当したのは「興味・関心のあることに取り組むことができていること」であった。



重点的改善領域

興味・関心のあることに取り組むことができていること

要検討領域

生涯にわたって学習できる環境が充実していること

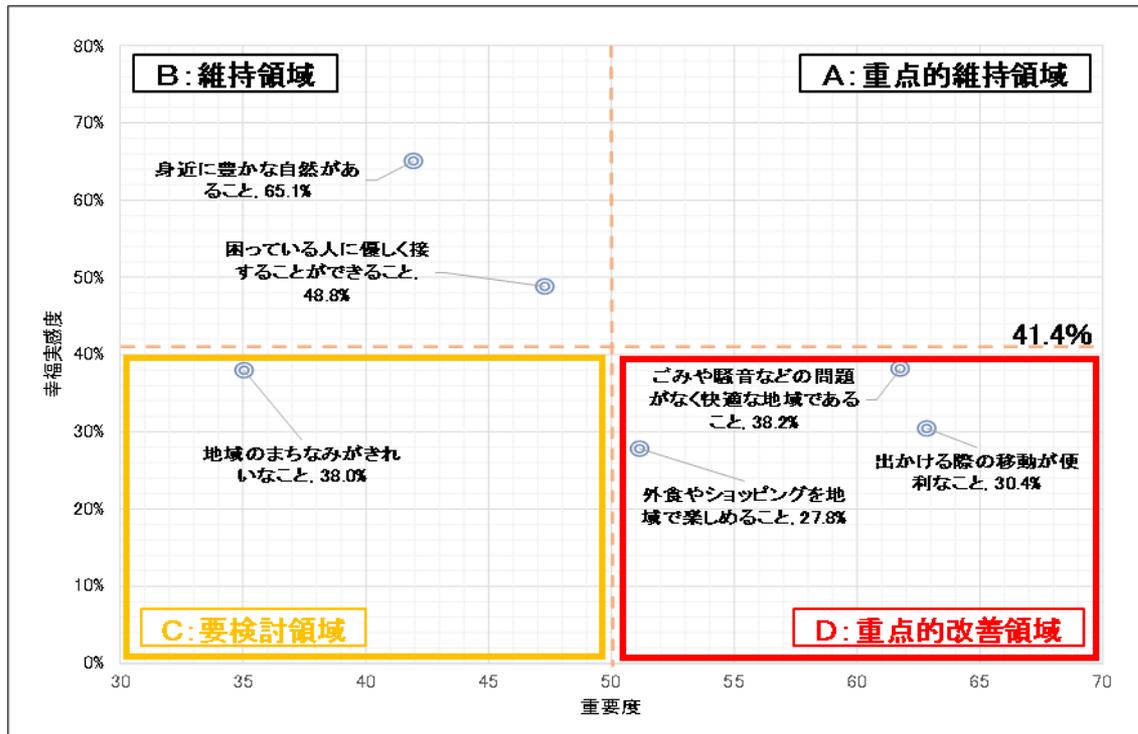
身近にスポーツができる環境があること

良質な文化・芸術に接したり取り組んだりする機会に恵まれていること

教育に関する事業・サービス・施設などが地域に充実していること

⑤ 都市基盤・環境

6分野46項目のうち、「都市基盤・環境」分野の6項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『重点的改善領域』に該当したのは「外食やショッピングが楽しめること」、「ごみや騒音などの問題がなく快適な地域であること」、「出かける際の移動が便利なこと」であった。



重点的改善領域

外食やショッピングを地域で楽しめること

ごみや騒音などの問題がなく快適な地域であること

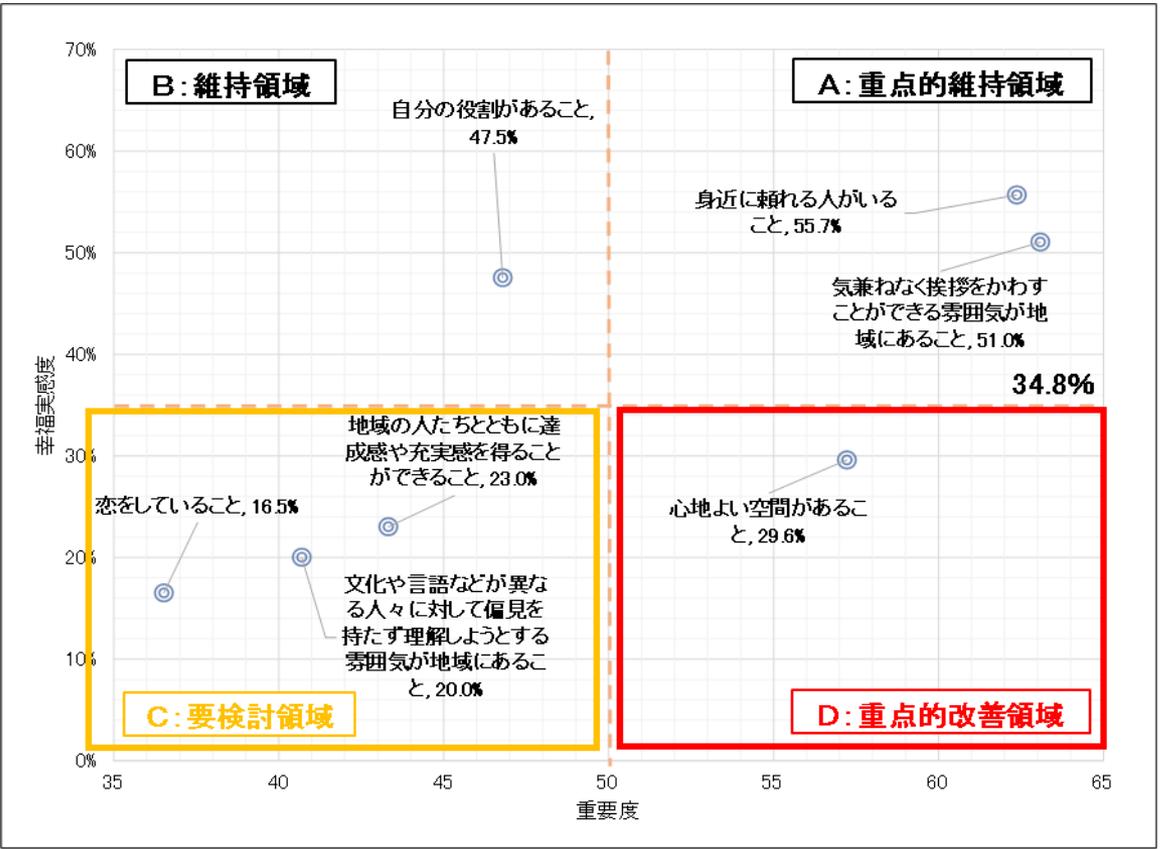
出かける際の移動が便利なこと

要検討領域

地域のまちなみがきれいなこと

⑥ コミュニティ

6分野46項目のうち、「コミュニティ」分野の7項目についてポートフォリオ分析を行った結果、『重点的改善領域』に該当したのは「心地よい空間があること」であった。



重点的改善領域
心地よい空間があること

要検討領域
 地域の人たちとともに達成感や充実感を得ることができること
 文化や言語などが異なる人々に対して偏見を持たず理解しようとする雰囲気があること
 恋をしていること